



<< プレスリリース(抄訳) >>

グローバルスターとグローバルサットは、ラテンアメリカの再生可能エネルギーステーションの監視用に IOT ソリューションを導入

(2022年8月23日) パナマシティ;

Globalstar (NYSE American:GSAT)は、Globalsat Group と提携し、ラテンアメリカの遠隔地にある再生可能エネルギーステーションを監視するために設計された、Globalstar の衛星ネットワークを利用した共同開発の IoT ソリューションを展開しています。最初の展開時には、地域全体で約 23,000 台ものデバイスが含まれ、順次、追加の機会が期待されます。

遠隔地に設置されたエネルギーステーションは、歴史的にアクセスに関連するコストの影響を示してきました。同様に、サービスシャットダウンの通知がなければ、時間、収益、および情報のさらなる損失を引き起こしてきました。この度の新しいソリューションにより、クライアントは機器の状態やエネルギー消費に関する情報など、毎日のデータを簡単に取得できます。予防的なスケジューリングとリアルタイムの対応により、保守コストも大幅に削減されます。このソリューションは、盗難防止の手段としての監視の可視性も提供いたします。

「この展開は、ラテンアメリカの再生可能エネルギー分野への拡大における重要なマイルストーンを表しています。」と、Globalstar のラテンアメリカ担当ゼネラルマネージャーである Juan Porras 氏は述べています。「このパートナーシップを通じて、私たちは現在、世界中の他のエネルギー市場に拡大するための好位置につけています。」と Globalstar の CEO である David Kagan 氏も述べています。

Globalstar と Globalsat は、2019 年以來、ラテンアメリカ全体の鉱業、石油およびガス、政府系産業におけるソリューションで協力してきました。この再生可能エネルギープロジェクトの開発は 2020 年に始まりました。

Globalsat Group の CEO である J. Alberto Palacios 氏は、次のようにコメントしています。「これは、低電力レベルと高い信頼性を組み合わせる必要があり、技術的に要求の厳しい開発でした。私たちのチームは、カスタムハードウェアの開発を通じて効率をさらに最適化することができました。これによりこの困難なプロジェクトに付加価値を与えることができたことを特に誇りに思っています。」

Globalsat Group について

1999 年に設立された Globalsat Group は、最初の全米移動体衛星サービス(MSS)コンソーシアムであり、西半球全体で音声、データ、M2M/IoT、ソフトウェア、およびハードウェア開発の主要プロバイダ



ーとして、米国本土、アルゼンチン、ボリビア、ブラジル、カナダ、チリ、コロンビア、エクアドル、ペルー、プエルトリコ、メキシコの各所にオフィスを配備し、地域の最も重要な都市には販売代理店網があります。Globalsat の陸上、海上、航空ソリューションは、エネルギー、政府、防衛、メディア、鉱業、銀行、農業、NGO、観光などの分野の何千もの顧客にミッションクリティカルな通信を継続的かつ効率的に提供しています。Globalsat Group は、MSUA (Mobile Satellite Users Association) から「Top Land Mobility Satcom Innovation Award」を受賞し、2016 年、2017 年と 2020 年には、高く評価されている国際コンサルティング会社のフロスト&サリバンの「Latin Americas Satellite Communications Company of the Year」に選出されました。近年、Globalsat Group は、関連会社の Globalsat do Brasil を通じて大手企業 ACIL GPTW として際立っています。

注) このプレスリリースは米国 Globalstar 社のプレスリリースの抄訳です。詳しい内容につきましては原文をご参照ください。